

平成28年06月01日	
連絡先	
子ども・家庭局	
少子化対策課	
担当者	西田・松永・小端
電話	059-224-2304
ファックス	059-224-2270
e-mail	shoshika@pref.mie.jp

6月は「育児男子推進月間」です！

～男性の育児参画推進の取組にご参加ください！～

県では、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」の重点的な取組の一つである「男性の育児参画」を推進するために、「みえの育児男子プロジェクト」(*)を進めています。

このたび、父の日(6月19日)及び男女共同参画週間(6月23日から29日まで)にちなみ、6月を「育児男子推進月間」と位置付け、期間中さまざまな普及啓発等を実施します。

ぜひご参加ください！

1 第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤ- inみえ」募集開始

ステキな育児をしている男性や、育ジイ、イクボスなどを大募集！

とっておきのエピソードや実践事例も大歓迎です！

多くの共感が得られた事例を表彰し、広く皆さまにご紹介します！

【応募部門】

- ・“我が家の育児男子”部門
- ・“私の街の育児男子応援団”部門
- ・“イクボスさん、いらっしやい！”部門

【募集期間】

平成28年6月1日(水)から8月31日(水)まで

【応募方法】

Webサイト (<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/000117883.htm>) 内の応募フォーム、または、応募用紙に必要事項を記入のうえ、FAXもしくは郵送により少子化対策課まで送付してください。

【賞品】

大賞受賞者の中から、下記施設の無料宿泊券(協賛企業提供)を贈呈します。

- ・伊賀の里モクモク手づくりファーム
- ・語らいの里 嚙野(はなしの)
- ・NEMU HOTEL & RESORT
- ・里創人(りぞーと) 熊野倶楽部

2 平成28年度第1回「みえの育児男子倶楽部」の開催

昨年度に引き続き、男性等が子育てをテーマに気軽に情報交換できる場として「みえの育児男子倶楽部」を開催！今年度第1回の参加者を募集します！

【日時】

平成28年6月22日(水) 18時30分から20時30分まで

【場所】

アスト津4階 研修室A(津市羽所町400)

【内容】

- ・ゲストトーク 「本でつながる父子(おやこ)の絆」
講師：増田喜昭氏(子どもの本専門店メリーゴーランド店主)
- ・参加者交流会(フリートーク等) 等

【対象】

子育て中の男性や、育児に関心のある男性等

【参加方法】

参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX、メールもしくは郵送により少子化対策課まで送付してください。

3 その他の県の取組

- ・「フレンテまつり」における啓発活動（6月4日）
- ・「みえのイクボス同盟」参加企業・団体の募集（随時）

4 関連取組

- ・男女共同参画連携映画祭（6月から7月まで県内各地で開催）での事業PR
- ・地域で男性の子育て推進に取り組む団体「ミエメン」と「ノビスマイル四日市」（ともにファザー・ワ・ガ・ヤ-大賞受賞）の連携による“父の日イベント”（6月19日）

5 申し込み・問い合わせ先

健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課

〒514-8570

三重県津市広明町13番地

電話：059-224-2304

FAX：059-224-2270

e-mail：shoshika@pref.mie.jp

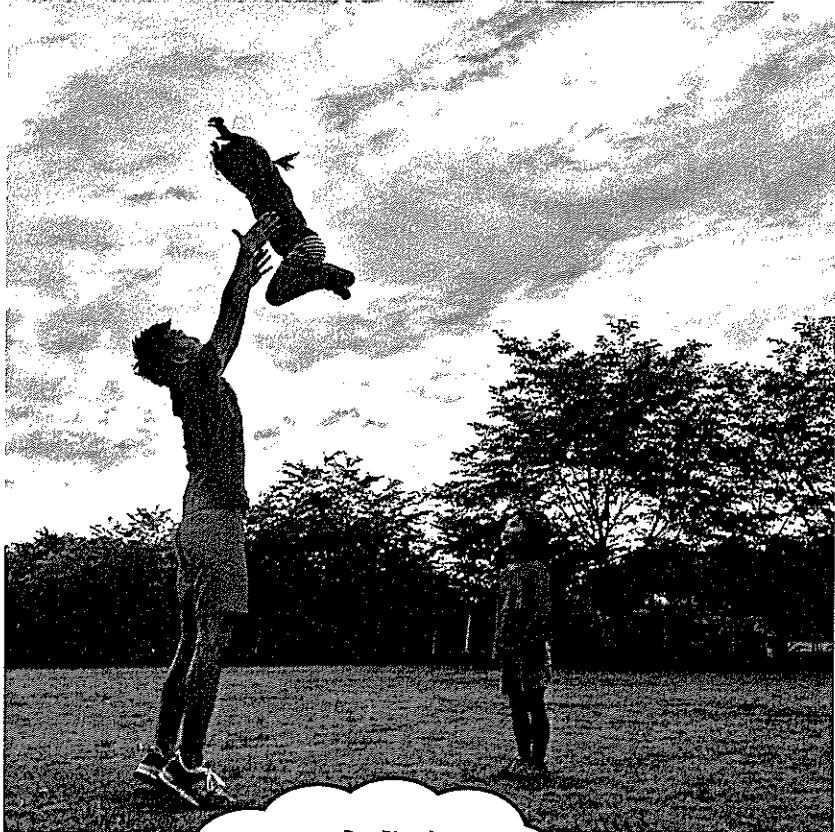
※ みえの育児男子プロジェクトとは

「子育てには男性の育児参画が大切」という考え方が職場や地域社会の中で広まるよう、家族での話し合いや理解のもと、その人なりの方法で、子どもの生き抜く力を育てることを大切に考えて、男性が積極的に育児に参画することを応援する取組です。


第3回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ



ステキな育児をしている男性や、“育ジイ”、“イクボス”などを大募集！
とっておきの“エピソード”や“実践事例”も大歓迎！



みえの育児男子
フォトコンテストも
同時開催！
(詳細は裏面)



応募締切 平成28年
8月31日(水)必着

応募部門 (いずれも自薦・他薦とも可)

- 1 “我が家の育児男子”部門
自慢のイクメン夫や子どもとの外遊びやスポーツが大好きなお父さん、昔ながらの遊びを教えてくれる孫大好き“育ジイ”など、その人なりの方法や関わり方で、ステキな育児をしている男性を大募集！
- 2 “私の街の育児男子応援団”部門
お互いの子育てを応援しあっているパパ同士の集まりや、子どもの育ちを応援するためのさまざまな地域活動に取り組んでいる男性やグループ、団体などを大募集！
- 3 “イクボスさん、いらっしやい！”部門
子育て等を行う部下の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる経営者や上司、先輩など(男性・女性問わず)の日ごろのイクボスぶりを大募集！

応募資格 三重県内に在住または通勤・通学をしている方
(男性・女性問わずご応募いただけます。)

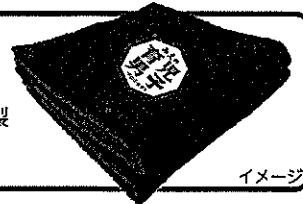
審査・表彰 子育て中の母親等で構成する審査員から「ステキな育児(取組)をしている!」として、より多くの共感を得られた方々を、第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」大賞及び部門賞として、10月中旬に表彰します。
(表彰式の詳細は、後日お知らせします。)

問い合わせ先 〒514-8570 津市広明町13
三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課
TEL: 059-224-2304 FAX: 059-224-2270
Mail: shoshika@pref.mie.jp

詳しくは [みえの育児男子プロジェクト](#) 検索

← 応募の詳細は裏面をご覧ください

ご応募いただいた方の中から、
抽選で100名様に
みえの育児男子プロジェクト 特製
「バスタオル」をプレゼント!



イメージ

第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」大賞に輝いた方の中から、下記宿泊施設の無料宿泊券をプレゼント! その他、部門賞もあるよ!

- ・伊賀の里 モクモク手づくりファーム
- ・語らいの里 ^{みえの} 断野
- ・NEMU HOTEL & RESORT
- ・里創人 ^{リゾート} 熊野倶楽部

※ご利用条件の詳細は、賞品提供時にお伝えします。



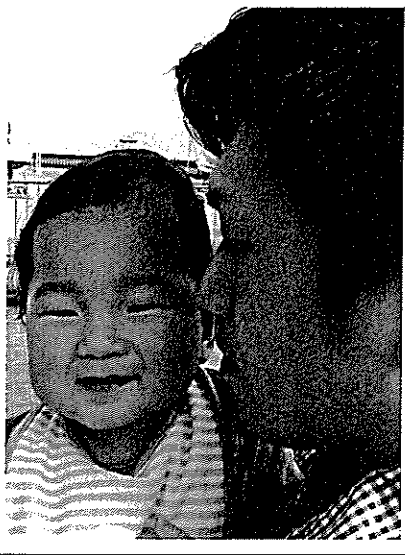
“我が家の育児男子”部門

こにしたかお
小西 隆緒 さん

伊勢市

推薦者 小西 めぐみさん(妻)

育児対象 お子さん(1歳、15歳、16歳)



僕と妻は再婚です。そして彼女には二人の子どもがいます。現在15歳と16歳です。僕はいきなり難しい年頃の男の子の父親になりました。

高校に入学してほっとするまもなく妻の出産がやってきました。2014年4月11日。元気な男の子です。

決して豊かではないこの生活。何せ食べ盛りの食費は凄まじく、負けじと赤ちゃんもミルク飲む飲む！よって産後間もない妻に働いてもらってます。

妻は大学で就職支援の仕事をしています。繁忙期に突入する1月から僕は彼女に代わって家庭を守る「専業主夫」になるため育児休暇をとる決心をしました。会社も許してくれたのが嬉しかったですね。感謝しています。

初めての専業主夫の世界に戸惑いました。社会に関われない疎外感や子守りを続ける事のストレスもあったんですね。

子育てママの気持ちが少しだけ、痛いほどわかりました。

ですが、徐々に慣れてくるものですね。離乳食教室に赤ちゃんを抱えて出かける余裕も出来ました。その夜に早速覚えてきた献立を美味しく口に食べてくれました。

こうして僕は通常、お父さんが出来ない貴重な経験を3か月も出来たのです。

最後にミルク、離乳食、おむつかえ、絵本読み等、奥さんともほぼ対等に張り合える、そう、僕はイクメンパパなんです。

第2回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ 受賞者紹介

表彰式
H27.10.12

※文章は一部抜粋しています。全文はホームページをご覧ください。



“我が家の育児男子”部門

おおつか ゆうすけ
大塚 裕介 さん

菟野町

推薦者 大塚 麻衣さん(妻)

育児対象 お子さん(1歳)



我が家の家訓は「早寝・早起き・夕ご飯」。そんな我が家に2人目が授かったのは今年の1月。2人目に喜び間もなく、私はひどいつわりがはじまり、長男は1歳を過ぎたばかりで、まだまだ甘えたい盛り…。やらないといけないことはたくさんあるのに身体は言うことを聞いてくれず、気が付けば我が家の家訓は忘れ去られ、私は長男に対してイライラしてしまうこともありました。

そんな時にうちの夫は1時間の早出勤務を始めてくれました。朝は朝食を準備してから出勤し、夕方5時には帰宅、夕食作り、お風呂に洗濯と大活躍。

1時間勤務時間をずらしたただけなのに、夫と長男の距離は大きく縮まりました。夫の育児参加で余裕が生まれたことで、私自身の精神的負担も大きく減りましたし、その結果家族で笑う時間も今まで以上に増えたように思います。



“私の街の育児男子応援団”部門

パパスマイル四日市

四日市市

推薦者 佐藤 保幸さん(「パパスマイル四日市」メンバー)

育児対象 自分の子ども・メンバーの子ども



パパスマイル四日市は四日市市主催の「父親の子育てマイスター養成講座」の修了生が立ち上げたグループです。「父親が子育てに楽しみながらかかわることで父親も子ども母親も笑顔になり子育てしやすい地域を目指す！」をモットーに2014年1月から活動しています。パパ向け講座や父親と子どもの料理教室、家族イベントや絵本読み聞かせなどを実施しています。

<主な活動内容(2014)>

- ・四日市市で開催された全国フォーラムにおいて、四日市市と協働し、分科会「パパのスマイル会議！」を開催。
- ・四日市市男女共同参画センター「はもりあ」における市民企画事業として、「父子の料理教室&ママは女子カアップ」など、父親そして家族が笑顔になるための3回連続講座を開催。
- ・朝日町とアイリスあさひさんの事業の講師として、パパと子どもの参加者に対し、前半は男女共同参画に関するワークショップを開催し、後半はパパと子どもの料理教室を開催。
- ・全国フォーラムなどで培った「パパ活動」のネットワークを活かして、私立図書館による事業実施に結びつけるための橋渡しを行いました。
- ・その他、周辺市町などに出向き、地元のパパさんたちとの交流会や、絵本の読み聞かせなどを実施。

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ とは？

家庭や地域でステキな子育てをしている男性(=育児男子)や、部下の仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる職場の上司(=イクボス)、とっておきのエピソードや実践事例などを自薦・他薦により募集し、多くの共感を得られた方々を表彰し、その内容を広く県民の皆様にご紹介する取組です。

「みえの育児男子プロジェクト※」の一環として実施しており、昨年度の第2回では418件という多数のご応募をいただきました。
 ※「子育てには男性の育児参画が大切」という考え方が職場や地域社会の中で広まるよう、家族での話し合いや理解のもと、その人なりの方法で、子どもの生き抜いていく力を育てることを大切に考えて、男性が積極的に育児に参画することを応援する取組。

“イクボスさん、いらっしゃい！”部門



株式会社山下組
代表取締役社長

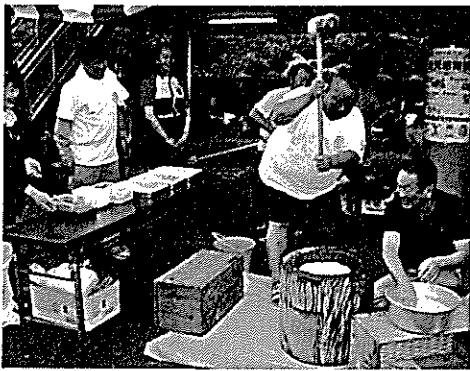
やました のぶやす

山下 信康 さん

志摩市

推薦者 本人

育児対象 従業員の子ども

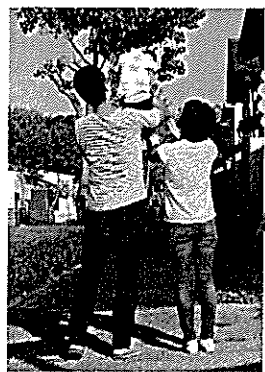


私は創業1916年の建設会社の社長をしております。弊社には女性の監督がおり、その女性は元は現場への派遣事務員でした。彼女が弊社で監督になるまでの道のりを近くで見ていると、女性の頑張り、女性ならではの気遣い、男性に負けない仕事っぷり等々を目の当たりにし、私の中で『女性と共に作っていく会社の未来』がぼんやりと見えてきました。また、現在、弊社で役員をしている女性の体験談を聞いて、男は子育てと言っても、やはりその大半が女性の手にゆだねられているという事実と労働力としての女性の素晴らしさを知り、子育てをする女性(あるいは男性も)を応援しなければ、会社の未来は無いと考えるようになりました。

〔取組例1〕以前、事務員の募集をした際に応募してきた女性社員は、当初は『子供の保育所の時間内でパートで働ければ。』と考えていました。しかしながら、私は、『時間は子育てに合わせて出勤すればいい。だから正社員として働いて、働くという事に意味を持たせ、意義を見出してほしい。』と話し正社員になってもらいました。今も、この女性社員は子供を保育所に送ってから出勤をしており、お迎えがあるので4時には退社しています。

〔取組例2〕自身の子供の学年を対象に弊社が施工している建築現場で現場見学会を行いました。多くの生徒に混じり、私の子供や男性社員の子供などは、父親がどんな所で仕事をしているかを知る機会になったと思います。

〔取組例3〕ある男性社員が離婚した年に、旅行に行きたがらない社員とその子供を誘い、私の車で3人で旅行に行きました。今年の社員旅行も、その子供が一人になるので会社負担で同行させました。



“我が家の育児男子”部門

まつうら
松浦 さん

桑名市

推薦者 妻

育児対象 お子さん(2歳)

約半年の交流期間を経て里子が我が家にやってきたのは昨年のこと。それまで夫婦二人でマイペースに過ごしていた生活が子ども中心の生活に変わりました。とは言っても、子どもと過ごす時間の新鮮さが子育ての大変さより勝り、楽しい生活ですが、

少し大変だったのは夫と子どもかもしれません。交流期間の後半は私と過ごすことが多かったため、子どもと夫の間に少し距離が。そして子育てを始めた私と夫の間にいくつか波風が立つことも。その度にどんなふうに子育てをするのか、何度も話をしました。その甲斐があつて、私と夫の間で波風が立つことも少なくなり、いつのまにか夫と子どもの距離も縮まりました。

休日は子どもと過ごすのは主に夫が担当。特に子どもは夫の『高い高い』がお気に入り。また、

私が苦手な立体的な遊び(ブロックで怪獣や建物を作ったり)をしたり、好きな車のカタログを二人で見て過ごしています。

時には子育て支援センターや公園へ二人で出かけることも。子どもも楽しそうですが、出かける時に「少しはゆっくりしたら。」と私に声をかけてくれる気遣いも嬉しいです。

当初は私に懐き夫と二人になると泣いていた子どもも、今ではすっかりパパのことが大好きになり二人で過ごすときも笑顔がでるように。そして私も心に余裕を持ちながら笑顔で育児ができています。

夫は子育てだけでなく家事にも積極的に関わっています。料理以外の家事ならどんとこい。キッチンの片付けが終わらないまま私が疲れて早く寝てしまった時、翌朝キッチンがピカピカだったことが何度もあります。気が付いた方が家事をやれば良いという考えの夫にずいぶん助けられています。

ご縁があつて子育てをするようになりましたが、父親が家事・育児に参加することで母親にも余裕が生まれ、家族で子育てを楽しむことができるのだと実感しています。我が家の育児男子に感謝！

その他の受賞された方々

- | | | | |
|---------------|------------------|------|--------------------|
| ●四日市市 | しみず 清水 正行さん | ●鈴鹿市 | 鈴鹿市立明生小学校 おやじの会 |
| ●松阪市 | まさゆき 奥谷 真さん | ●津市 | もり ひろき 森 宏記さん |
| ●いなべ市 | あみ 平尾 亜美さん | ●伊勢市 | なかせ こ けんご 中世古 健吾さん |
| ●鈴鹿市 | あや 三澤 亜耶さん | ●亀山市 | はっとり りえ 服部 梨恵さん |
| ●名古屋市(四日市市勤務) | はっとり さとし 服部 聡司さん | ●津市 | あきま りか 朝熊 莉加さん |

応募者情報

お名前 ふりがな	電話番号(日中の連絡先)
ご住所 〒 -	電子メールアドレス

応募部門

(☑をつけてください。複数選択可)

- ① “我が家の育児男子” 部門 ② “私の街の育児男子応援団” 部門
 ③ “イクボスさん、いらっしゃい!” 部門

推薦いただく男性やグループ、イクボスさん、エピソードや実践事例の持ち主等に関する情報

お名前 (グループ名) ふりがな	育児の対象 <input type="checkbox"/> 自分の子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他
ご住所 (代表者住所) 〒 -	その子の年齢は?
応募者との関係 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 親戚 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 同僚 <input type="checkbox"/> 上司 <input type="checkbox"/> 所属企業の経営者 <input type="checkbox"/> その他 ()	会社名 (③へご応募の場合)

推薦理由・PRコーナー(ご自身の言葉でご自由にお書きください。字数の制限はありません。)

<部門①②へご応募の方>
特に紹介したい育児内容や子どもとの関わり方、エピソード、取組内容等を、具体的に記入してください。

<部門③へご応募の方>
イクボスさんが、日頃どのように部下の育児と仕事の両立を応援しているか、その内容を具体的に記入してください。

※取組内容のわかる資料や、任意様式に追記していただいたものを添付(別途送付)していただいてもOKです!

同時開催!みえの育児男子フォトコンテスト

撮影時のエピソード

推薦いただいた男性と子どもを撮影したお気に入りの写真を、撮影時のエピソードを添えてお送りください。(10月中旬の表彰式にて「みえの育児男子ベストショット賞」として紹介します。)

- ※選考にあたっては、電話や面談等により推薦内容についての確認をさせていただきます。
- ※ご記入いただいた個人情報は、本事業実施にのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。
- ※ご紹介いただいた子育ての内容や、お送りいただいた写真等は、表彰式や男性の育児参画推進に関する事業の中で、活用させていただきます。
- ※お送りいただいた写真や資料等は返却いたしかねますので、ご了承ください。

下記のいずれかの方法によりご応募ください。

①応募フォームによるご応募の場合 _____
 WEBサイト内の応募フォームより必要事項をご記入の上、送信してください。
 URL : <https://www.shinsei.pref.mie.jp/uketsuke2/sform.do?acs=28father>

②FAX・郵送によるご応募の場合 _____
 応募用紙に必要事項をご記入の上、送信(送付)してください。
 FAX送信先: 059-224-2270 / 送付先: 〒514-8570 三重県少子化対策課あて(住所記載不要)

※FAXによるご応募の場合、「みえの育児男子フォトコンテスト」用の写真データは、応募者名等を明記の上、記録メディアに入れて郵送していただくか、メールに添付(3.5MBまで)して送信してください。 Mail : shoshika@pref.mie.jp



これからお父さんになる人も是非ご参加を！

パパ友だってできますよ！

異業種交流でビジネスにつながる人脈づくりも！

子育てをテーマに、男性同士で集ってみませんか

第1回

「みえの育児男子倶楽部」



日時：2016年(平成28年) 6月22日(水) 18:30～20:30

場所：アスト津4階 研修室A (津市羽所町400: JR/近鉄津駅直結)

対象：子育て中の男性や育児に関心のある男性等

参加費：無料 定員：50名程度(先着順)

問い合わせ先：少子化対策課 (TEL:059-224-2304 / Mail:shoshika@pref.mie.jp)

1 ゲストトーク『本でつながる父子の絆』(18:30～19:30)

増田 喜昭氏 (子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)



増田 喜昭 (ますだ よしあき/子どもの本専門店メリーゴーランド店主)

1950年三重県四日市市生まれ。1976年子どもの本専門店「メリーゴーランド」を開く。第一線で活躍する作家、画家を招き、子どもと子どもの本を考える「レクチャー」を月一回開催。プロの絵本作家、童話作家の養成ワークショップ「絵本塾」「童話塾」を主宰。

その他、新聞、雑誌のコラムの執筆、各地での講演会など、子どもの本の普及、遊びと学びのある子どもの居場所づくりに力を注いでいる。

2 参加者交流会(19:40～20:30)

それぞれの子育てに関する情報交換・フリートーク(雑談)等

参加者同士の交流を通じてパパ友やネットワークを作ってくださいね！

みえの育児男子倶楽部とは・・・

男性同士が会社等の垣根を越えて、それぞれの子育てに関する楽しみや悩み、経験談等について気軽に相談し、情報交換を楽しむための、真面目でゆる～い集まりの場です。

毎回、男性の子育て応援をテーマにしたゲストトークも予定しており、子育てに関する知識や、子どもや家族との関わり方のヒントなども持ち帰っていただけたと思います。

主催：三重県

●第1回参加申込書● 三重県少子化対策課あて ①E-mail : shoshika@pref.mie.jp
②FAX : 059-224-2270

会社名			
お名前(ふりがな)		お子さんの年齢	才
連絡先	TEL :	E-mail :	

【その他の県の取組】

・ 「フレンテまつりにおける啓発

【日時】平成28年6月4日（土） 10時～16時

【場所】三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」（津市一身田上津部田 1234）

【内容】当日、第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」にご応募いただいた方に対し、みえの育児男子ロゴマークシールを貼付した「ベビースターラーメン」を配布します。

※協力：株式会社おやつカンパニー

・ 「みえのイクボス同盟」参加企業・団体の募集

【募集期間】随時

【内容】部下の仕事と家庭の両立等を応援する「イクボス」の取組や精神が県内各地に広がることをめざし、本年4月に発足した「みえのイクボス同盟」について、さらに参加メンバーを募集し、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む企業経営者等の輪を広げていきます。

【関連取組】

・ 男女共同参画連携映画祭での事業PR

【日時】平成28年6月5日（日）～7月31日（日）

【場所】県内22の会場

【内容】三重県内の市町と県男女共同参画センター「フレンテみえ」が共同開催する「男女共同参画連携映画祭」の各会場において、当日の来場者に第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」の募集チラシを配布し、みえの育児男子の取組をPRします。

（男女共同参画連携映画祭に関する連絡先：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」（電話 059-233-1130））

・ 地域で男性の子育て推進に取り組む団体「ミエメン」と「パパスマイル四日市」の連携による“父の日イベント”（県後援）

【日時】平成28年6月19日（日） 13時30分から16時（予定）

【場所】フットサルパーク「NASPA」（ユウユウカイカン内：四日市市智穂町 3359番地）

【内容】「第1回外遊び王座決定戦」と銘打ち、子どもたちに屋外で身体を使って遊ぶ楽しさを知ってもらうため、父親たちが創意工夫して考えたオリジナル外遊びを披露し、参加者の投票によって順位を決定します。

【参考】「ミエメン」と「パバスマイル四日市」は「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」のそれぞれ第1回、第2回の大賞を受賞したパパグループです。

(イベントの連絡先: 「ミエメン」川端氏 miemen260101@gmail.com)